

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域					備考	文献	定着状況	種を「我が国に侵入し、その生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種」として定める区分	移動種 我が国の国内移動、島嶼間	その他情報			沖縄県における区分
					【○:定着、(○):定着していない・不明】										世界史的な外来種	日本の侵略的外来種	特定外来生物	
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島	島名									
1	カメ	ヌマガメ	アカミミガメ	<i>Trachemys scripta</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	緊急対策外来種				対策種	
2			ミシシippアカミミガメ	<i>Trachemys scripta elegans</i>	○	○	○	○	沖縄島、伊江島、伊是名島、浜比嘉島、津堅島、久高島、粟国島、久米島、座間味島、宮古島、石垣島、西表島、北大東島、南大東島	1972年以降に野外でみられるようになったとされているが、詳細不明。	(1), (2), (8), (11), (17), (18)	○	緊急対策外来種		●	●	対策種	
3			キバラガメ	<i>Trachemys scripta scripta</i>	(○)				沖縄島	保護収容された記録がある。	(8)	△					区分外	
4			コロビアクジャクガメ	<i>Trachemys callirostris callirostris</i>	(○)				沖縄島	保護収容された記録がある。	(8)	△					区分外	
5			クーターガメ属	<i>Pseudemys</i> spp.	(○)				沖縄島	リバークーターが保護収容された記録がある。	(8)	△	その他の定着予防外来種				予防種	
6			リバークーター	<i>Pseudemys concinna</i>	(○)				沖縄島	保護収容された記録がある。	(8)	△	その他の定着予防外来種 (クーターガメ属として)				予防種 (クーターガメ属として)	
7			ミツユビハコガメ	<i>Terrapene carolina triunguis</i>	(○)				沖縄島	保護収容された記録がある。	(8)	△					区分外	
8			ニシキガメ属	<i>Chrysemys</i> spp.	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	その他の定着予防外来種				予防種	
9			チズガメ属3種 (ミシシippチズガメ、フトマユチズガメ(サビーンチズガメを含む)、ニセチズガメ)	<i>Graptemys pseudogeographica kohnii</i> , <i>Graptemys ouachitensis</i> ( <i>Graptemys ouachitensis sabinensis</i> ), <i>Graptemys pseudogeographica</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	その他の定着予防外来種				予防種	
10		イシガメ	クサガメ	<i>Mauremys reevesii</i>	○				沖縄島、久米島、座間味島	久米島では定着しているか不明。座間味島では2012に4個体以上を確認。	(1), (2), (8), (18)	○					区分外	
11			ニホンイシガメ (交雑種を含む)	<i>Mauremys japonica</i>	(○)				沖縄島	保護収容された記録がある。	(8)	△					予防種	
12			ミナミイシガメ (交雑種を含む)	<i>Mauremys mutica mutica</i>	○				伊平屋島		(1)	○	その他の総合対策外来種				対策種	
13			ヤエヤマイシガメ(石垣島、西表島、与那国島以外)(交雑種を含む)	<i>Mauremys mutica kami</i>	○		○	○	瀬底島、沖縄島、藪地島、阿嘉島、久米島、宮古島、来間島、黒島、波照間島	自然分布:八重山諸島の石垣島、西表島、与那国島。黒島では定着の可能性は低いとされている。	(1), (8), (19), (20)	○	重点対策外来種	島嶼間移動			対策種	
14			-	<i>Mauremys mutica</i> (亜種不明)	○	○			伊是名島、沖縄島、北大東島、座間味島、渡名喜島、粟国島	1970年代の初め頃、ペット業者により運ばれたものや別に持ち込んだものが定着。	(1), (2), (8), (17), (18)	○	重点対策外来種(ヤエヤマイシガメとして)				対策種	
15			リュウキュウヤマガメ	<i>Geoemyda japonica</i>	○				沖縄島(南部)、慶留間島、伊江島	国指定天然記念物。伊江島の定着状況は不明。	(1), (2), (9), (21)	○		島嶼間移動?			区分外	
16			ヤエヤマセマルハコガメ(石垣島、西表島以外)	<i>Cuora flavomarginata evelynae</i>	○		○		沖縄島、久米島、宮古島、黒島	1970年代の初め頃から沖縄島等で確認されている。リュウキュウヤマガメとの雑種個体も発見されており、繁殖している可能性がある。国指定天然記念物。自然分布:八重山諸島(石垣島、西表島)に亜種ヤエヤマセマルハコガメが分布	(1), (2), (8), (11)	○	重点対策外来種				対策種	
17			チュウゴクセマルハコガメ	<i>Cuora flavomarginata flavomarginata</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	その他の定着予防外来種				予防種	
18			マレーハコガメ	<i>Cuora amboinensis</i>	(○)				沖縄島	保護収容された記録がある。	(8)	△					区分外	
19			ハナガメ(スジガメ)	<i>Mauremys sinensis</i>	(○)				沖縄島	保護収容された記録がある。	(8)	△	その他の定着予防外来種		●		予防種	

No.	目	科	種名	学名	平成30年度時点の情報					備考	文献	定着状況	種を「我が国に生息する種」に追加する種を「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種」として特定する種	その他情報			沖縄県における区分		
					移入・確認地域 【○:定着、(○):定着していない・不明】									移動種	我が国の国内移動、島嶼間	特定外来生物		世界の侵略的外来種	日本の侵略的外来種
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島	島名										
20		カミツキガメ	カミツキガメ	<i>Chelydra serpentina</i>	(○)				沖縄島	複数の目撃情報があるが定着状況は不明。	(9), (22)	△	緊急対策外来種	●	●	重点予防種			
21			ワニガメ属	<i>Macrochelys</i> spp.	(○)				沖縄島	記載した文献以外にも、沖縄島で2000年以降に複数回の目撃例がある。	(5), (6)	△	その他の定着予防外来種			予防種			
22		スッポン	ニホンスッポン	<i>Pelodiscus sinensis japonicus</i>	○	○		○	伊平屋島、沖縄島、粟国島、渡嘉敷島、渡名喜島、久米島、石垣島、西表島、波照間島、与那国島、北大東島、南大東島	石垣島では昭和初期に台湾から持ち込まれた個体が逸出して野生化したと言われる。	(1), (2), (11), (12), (18)	○	重点対策外来種			対策種			
23			チュウゴクスッポン	<i>Pelodiscus sinensis sinensis</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	その他の総合対策外来種			対策種			
24			アメリカスッポン属	<i>Apalone</i> spp.	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	その他の定着予防外来種			予防種			
25	有鱗	ヤモリ	ホオグロヤモリ	<i>Hemidactylus frenatus</i>	○	○	○	○	沖縄島、前島、渡嘉敷島、座間味島、阿嘉島、慶留間島、屋我比島、安室島、安慶名敷島、嘉比島、久場島、粟国島、渡名喜島、久米島、伊平屋島、具志川島(伊是名)、伊是名島、屋那覇島、古宇利島、伊江島、瀬底島、水納島(本部)、屋我地島、伊計島、宮城島(うるま)、平安座島、藪地島、浜比嘉島、津堅島、久高島、奥武島(南城)、池間島、大神島、宮古島、伊良部島、下地島(宮古)、来間島、水納島(多良間)、石垣島、竹富島、小浜島、黒島、上地島(新城島)、下地島(新城島)、鳩間島、西表島、由布院、波照間島、与那	国内のどの分布域でも自然林に見られないことから、国外から侵入した外来種である可能性が高いが、在来の可能性も捨てきれないとされている。	(1), (2), (11), (12), (14)	○					区分外		
26			オガサワラヤモリ	<i>Lepidodactylus lugubris</i>	○	○	○	○	沖縄島、渡嘉敷島、座間味島、阿嘉島、屋我比島、安室島、安慶名敷島、嘉比島、久場島、瀬底島、水納島(本部)、大神島、宮古島、来間島、多良間島、石垣島、竹富島、小浜島、黒島、鳩間島、西表島、波照間島、与那国島、北大東島	自然分布:大東諸島。ただし、北大東島からは外来と思われるクローンも分布。	(1), (2), (11), (14)	○	?				区分外		
27			キノボリヤモリ	<i>Hemiphyllodactylus typus typus</i>			○	○	宮古島、多良間島、石垣島、竹富島、小浜島、西表島、波照間島		(1), (2), (10)	○				区分外			
28			ニシアフリカトカゲモドキ	<i>Hemitheconyx caudicinctus</i>	(○)				沖縄島	保護收容された記録がある。	(8)	△				区分外			
29			トッケイヤモリ(オオヤモリ)	<i>Gekko gekko</i>	(○)				沖縄島	1970年に確認された。	(3), (8), (16)	△				区分外			
30			ヒョウモントカゲモドキ	<i>Eublepharis macularius</i>	(○)				沖縄島	保護收容された記録がある。	(8)	△	その他の定着予防外来種			予防種			
31		イグアナ	キタチャクワラ	<i>Sauromalus ater</i>	(○)				沖縄島	保護收容された記録がある。	(8)	△				区分外			
32			グリーンアノール	<i>Anolis carolinensis</i>	○				沖縄島、座間味島	沖縄島で1989年に初確認。座間味島では2013年に発見されている(定着有無は不明)。	(1), (2), (8), (11)	○	緊急対策外来種	●	●	重点対策種			
33			ブラウンアノール	<i>Anolis sagrei</i>	-	-	-	-				×	その他の定着予防外来種	●		予防種			
34			特定外来生物のアノール属(グリーンアノール、ブラウンアノール除く)	<i>Anolis</i> spp.	-	-	-	-				×	その他の定着予防外来種	●		予防種			
35			グリーンイグアナ	<i>Iguana iguana</i>	○		○	○	沖縄島、宮古島、石垣島	石垣島では繁殖が確認されている。	(1), (2), (8)	○	重点対策外来種			対策種			
36		アガマ	トゲオアガマ属の一種	<i>Uromastyx</i> spp.	(○)				沖縄島	保護收容された記録がある。	(8)	△				区分外			
37		キノボリトカゲ	スウィンホーキノボリトカゲ	<i>Diploderma swinhonis</i>	-	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	その他の総合対策外来種			予防種			
38		カメレオン	ジャクソンカメレオン	<i>Chamaeleo jacksonii</i>	(○)				沖縄島	保護收容された記録がある。	(8)	△				区分外			

No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域 【○:定着、(○):定着していない・不明】				島名	備考	文献	定着状況	種を及ぼすおそれのある外来種	我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種	移動種 国内移動、島嶼間	その他情報			沖縄県における区分
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島								特定外来生物	世界の侵略的外来種	日本の侵略的外来種	
39			チチュウカイカメレオン	<i>Chamaeleo chamaeleo</i>	(○)			沖縄島	保護収容された記録がある。	(8)	△							区分外	
40		トカゲ	キシノウエトカゲ	<i>Plestiodon kishinouyei</i>	(○)			沖縄島	保護収容された記録がある。国指定天然記念物(宮古諸島・八重山諸島固有種)	(8)	△							区分外	
41			シナトカゲ	<i>Plestiodon chinensis</i>	(○)			沖縄島	ホテル内(那覇市)で発見	(15)	△							区分外	
42			タテスジマブヤ	<i>Eutropis multifasciata</i>	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×							予防種	
43		アシナシトカゲ	バルカンヘビガタトカゲ(ヨーロッパアシナシトカゲ)	<i>Ophisaurus apodus</i>	(○)			沖縄島	保護収容された記録がある。	(8)	△							区分外	
44		オオトカゲ	ミズオオトカゲ	<i>Varanus salvator</i>	(○)			沖縄島	保護収容された記録がある。	(8)	△							区分外	
45	有鱗	メクラヘビ	ブラーミニメクラヘビ	<i>Indotyphlops braminus</i>	○	○	○	○	沖縄島、ハテ島、中島、前島、黒島(渡嘉敷)、城島、儀志布島、渡嘉敷島、座間味島、安室島、阿嘉島、慶留間島、外地島、屋我比島、久場島、粟国島、渡名喜島、硫黄島、久米島、奥武島(久米島)、オーハ島、伊平屋島、野甫島、具志川島(伊是名)、伊是名島、屋那覇島、古宇利島、伊江島、瀬底島、水納島(本部)、屋我地島、伊計島、宮城島(うるま)、平安座島、藪地島、浜比嘉島、津堅島、浮原島、久高島、池間島、大神島、宮古島、伊良部島、下地島(宮古)、来間島、水納島(多良間)、多良間島、石垣島、竹富島、嘉弥真島、小浜島、黒島、上地島(新城島)、下地島(新城島)、鳩間島、西表島、由布島、波照間島、仲御神島、与那国島、魚釣島、黄尾嶼(久場島)、北小島、南小島、北大東島、南大東島	一部の島嶼では自然分布の可能性もある。	(1), (2)	○							区分外
46		ボア	ビルマニシキヘビ	<i>Python molurus bivittatus</i>	(○)			沖縄島	保護収容された記録がある。	(8)	△							区分外	
47		ナミヘビ	サキシママダラ	<i>Dinodon rufozonatum walli</i>	(○)			沖縄島	保護収容(1987年, 1990年)	(3), (13), (16)	△							区分外	
48			アオダイショウ	<i>Elaphe climacophora</i>	(○)			沖縄島	保護収容された記録がある。	(8)	△							区分外	
49			シュウダ	<i>Elaphe carinata carinata</i>	(○)			沖縄島	保護収容(1989年)	(13), (16)	△							区分外	
50			サキシマスジ	<i>Elaphe taeniura schmackeri</i>	○			沖縄島	1980年代に初確認 自然分布:先島諸島(池間島、大神島、宮古島、伊良部島、下地島、来間島、多良間島、石垣島、小浜島、西表島)	(4), (8), (12), (13)	○		島嶼間移動					区分外	
51			タイワンスジ	<i>Elaphe taeniura friesi</i>	○			沖縄島	1970年代末に沖縄島中部で逃げ出した個体が増えたものと考えられている。	(1), (2), (8), (12), (13), (23)	○	緊急対策外来種		●		●	重点対策種		
52			ミナミオオガシラ	<i>Boiga irregularis</i>	(○)			沖縄島	保護収容(1990年)	(2), (3), (8), (13), (16)	△	その他の定着予防外来種		●	●		予防種		
53			特定外来生物のオオガシラ属(ミナミオオガシラを除く)	<i>Boiga spp.</i>	-	-	-	(侵入していない)	侵入していない。		×	その他の定着予防外来種		●			予防種		
54		ユウダ	ソウカダ	<i>Xenochrophis piscator</i>	(○)			沖縄島	保護収容(1994年)	(13)	△							区分外	
55		クサリヘビ	サキシマハブ	<i>Protobothrops elegans</i>	○		(○)	沖縄島、宮古島	自然分布:八重山諸島(石垣島、竹富島、嘉弥真島、小浜島、黒島、上地島、下地島、西表島) 宮古島では、港で小型個体を確認。	(1), (2), (8), (13)	○		島嶼間移動				区分外		
56			タイワンハブ	<i>Protobothrops mucrosquamatus</i>	○			沖縄島	1993年に初確認	(1), (2), (13)	○	緊急対策外来種		●			重点対策種		
57			ハブ(自然分布域以外)	<i>Protobothrops flavoviridis</i>	○			久高島、水納島(本部)、粟国島	1983年の記録(久高島)。1962年の論文による周辺からの移入(水納島)。粟国島では2017年に発見が相次いだ。久高島、粟国島では定着は確認されていない。	(1), (2), (13), (24)	○		島嶼間移動				対策種		
58		コブラ	タイコブラ	<i>Naja kaouthia</i>	(○)			沖縄島	1993年に初確認し、以後複数個体が確認された。現在は定着していないとされる。	(3), (8), (10)	△							区分外	

【沖縄県外来種データベース(爬虫類) 4/4】

平成30年度時点の情報													20240520更新版					
No.	目	科	種名	学名	移入・確認地域 【○:定着、(○):定着していない・不明】				島名	備考	文献	定着状況	種を「我が国に生息する種」に含める区別	移動種 我が国の国内移動、島嶼間	その他情報			沖縄県における区分
					沖縄諸島	大東諸島	宮古諸島	八重山諸島							特定外来生物	世界の侵略的外来種	日本の侵略的外来種	
59			アジアコブラ	<i>Naja naja</i> sp.	(○)			沖縄島	保護収容された記録がある。	(8)	△						区分外	
60	ワニ	アリゲーター	メガネカイマン	<i>Caiman crocodylus</i>	(○)			沖縄島	保護収容された記録がある。	(8)	△						区分外	
61		クロコダイル	イリエワニ	<i>Crocodylus porosus</i>	(○)			沖縄島	1983年の記録	(3), (8), (16)	△						区分外	

主な参考文献

- (1) 前之園・戸田 (2007) 琉球列島における両生類および陸生爬虫類の分布. Akamata. 18:28-46.
- (2) 国立研究開発法人 国立環境研究所. 侵入生物データベース
- (3) 沖縄県立博物館(1996). 沖縄の帰化動物.
- (4) 環境省那覇自然環境事務所(2012). 平成23年度 沖縄島におけるタイフンスジオ買い上げによる分布調査業務 報告書.
- (5) 琉球新報(2012). ワニガメ目撃 嘉手納・屋良ムルチ.
- (6) 琉球新報(2013). 国場川でワニガメ捕獲 飼育用逃走か.
- (7) 小林 頼太(2007).日本におけるカミツキガメおよびワニガメの定着危険性-新聞記事を用いた外来ペットの逸出モニタリング.爬虫両棲類学会報, 2; 101-110
- (8) 大谷勉(2007).沖縄島における爬虫類の移入種. 沖縄市立郷土博物館紀要あやみや, 8; 18-30
- (9) 大谷勉(2009). 日本の爬虫両生類157. 文一総合出版. 東京
- (10) 嵩原建二・当山昌直・小浜継雄・幸地良仁・知念盛俊・比嘉ヨシ子(1997). 沖縄の帰化動物-海をこえてきた動物たち-. 沖縄出版. 沖縄
- (11) 岩尾研二(2015). 慶良間列島の外来動物. みどりいし, 26; 24-34
- (12) 琉球大学資料館(風樹館)(2011). 琉球大学資料館(風樹館)哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類標本目録. 琉球大学資料館(風樹館)収蔵資料目録 第5号
- (13) 勝連盛輝・西村昌彦・香村昂男(1996). 沖縄諸島において本来の分布地とは異なる地域で採集されたヘビ. 沖縄生物学会誌, 34; 1-7
- (14) 山崎仁也・松村雅史・吉田和久・カ身恭二・目黒賢児 (2016). 鳩間島・新城(上)島・黒島の動物相(FAUNA) - 昆虫相を中心に. 鳩間島・新城島・黒島総合調査報告書. 沖縄県立博物館・美術館
- (15) 戸田守(2013). 人為的に運ばれ那覇市内のホテルの一室で発見されたシナトカゲ. Akamata, 24; 17-18
- (16) 太田英利(1995). 琉球列島における爬虫・両生類の移入. 沖縄島嶼研究, 13; 63-78
- (17) 本調査での初記録
- (18) 青柳克(2013). 沖縄諸島における外来淡水生カメ類の分布に関する新発見. Akamata. 24: 21-24
- (19) 本多正尚(2009). ヤエヤマシシガメの敷地島からの記録. Akamata, 20: 38-40
- (20) 亀田和成 (2010). 八重山諸島黒島におけるヤエヤマシシガメの初記録. Akamata (21): 23-24
- (21) 安川雄一郎 (2013). ヤマガメ属とホオジロクロガメ属の分類と自然史. クリーパー, 67: 2-10, 18-56.
- (22) 安川雄一郎 (2003). カミツキガメ科の分類と自然史(後編). クリーパー, 19: 4-23.
- (23) 佐々木健志 (1995). 沖縄島から採集されたタイフンスジオ *Elaphe taeniura taeniura* (有鱗目: ナミヘビ科) の幼蛇. 沖縄生物学会誌, 33: 65-67
- (24) 沖縄タイムス(2017)3匹目のハブ捕獲 いらないはずの沖縄・粟国島 村は注意呼び掛け(2017年11月29日 <http://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/177261>)